

氏 名 : 内藤 千尋  
専攻分野の名称 : 博士 (教育学)  
学位記番号 : 博甲第 305 号  
学位授与年月日 : 平成 30 年 3 月 16 日  
学位授与の要件 : 学位規則第 4 条第 1 項該当 課程博士  
学位論文名 : 少年非行・矯正教育における発達障害等の発達上の課題・困難を有する少年の実態と発達支援に関する調査研究  
論文審査委員 : (主査) 教授 高橋 智  
(副査) 教授 濱田 豊彦 教授 藤野 博  
教授 横尾 恒隆 准教授 山中 冴子

## 学位論文要旨

本研究「少年非行・矯正教育における発達障害等の発達上の課題・困難を有する少年の実態と発達支援に関する調査研究」では、①少年非行に関わる機関である少年鑑別所・児童自立支援施設・少年院・保護観察所・更生保護施設の職員への調査、②自立援助ホーム職員への調査、③発達障害等の発達上の課題・困難を有し、少年鑑別所・少年院・保護観察所・更生保護施設等への入所経験を持つ本人・当事者への発達支援・地域移行支援のニーズ調査の質的な実証研究を行い、特別支援教育・特別ニーズ教育の観点から、少年非行・矯正教育において求められている支援のあり方を検討していくことを研究の目的とした。

第 1 部「少年非行・矯正教育における発達障害等の発達上の課題・困難を有する少年の実態と発達支援に関する研究動向」では、児童自立支援、少年非行・矯正教育、更生保護の各分野における発達障害等の発達障害等の発達上の課題・困難を有する少年の実態と発達支援に関する研究動向を把握・検討した。

第 2 部「児童自立支援施設・少年鑑別所・少年院における発達障害等の発達上の課題・困難を有する少年の実態と発達支援の課題」では、以下の調査を実施し、発達障害等の発達上の課題・困難を有する少年の実態と発達や自立に向けた支援の課題を検討した。具体的には、①全国に 58 か所ある児童自立支援施設のうち 45 施設について、児童自立支援施設職員対象の半構造化面接法調査、②児童自立支援施設に併設されている 33 校の分校・分教室教師を対象とした半構造化面接法調査、③全国に 52 か所ある少年鑑別所のうち 26 施設の法務技官および観護教官 (計 53 名) への半構造化面接法調査、④全国 52 か所ある少年院のうち 48 施設の法務教官 (計 60 名) への半構造化面接法調査、⑤少年院において「支援教育課程Ⅲ (N3)」(知的障害あるいは情緒障害・発達障害とまではいえないものの、いわゆるボーダーラインにある少年を対象とした教育課程) に指定された男子少年 26 名 (のべ実施数 34 名) への半構造化面接法調査である。

**第3部「発達障害等の発達上の課題・困難を有する非行少年の社会的自立・地域移行の実態と支援の課題」**では、以下の調査を実施し、発達障害等の発達上の課題・困難を有する少年の社会的自立や地域移行支援の課題を検討した。具体的には、①全国自立援助ホームの職員を対象とし、40施設（計54名）への半構造化面接法調査、②全国の保護観察所・更生保護施設・自立準備ホームの職員、保護司を対象に全43回（計70名）の訪問面接法調査、③少年院において「支援教育課程Ⅲ（N3）」に指定された発達障害等の発達上の課題・困難を有する少年への半構造化面接法調査である。